



オミクロン株と

オミクロンの命名

2022年
1月号
presented by
荻窪接骨院

中国への忖度？

WHOは、「ニーは新しい」という意味のnewと混同されやすく、クサイは一般的な性であるため使用しなかつた」

WHOが中国の顔色ばかり見て
いるのですから、「WHOの
テドロス事務局長は、中国か
らお金もらつてるんじゃない
の?」と言いたくもあります
ね。

世界の感染状況

さて、世界のオミクロン株の感染状況を見てみましょう。全世界でオミクロン株による感染者数が増加し、南アフリカやイングランド、アメリカ合衆国では、デルタ株からオミクロン株への急速な置き換わりの進行が報告されています。南アフリカではゲノム解析された検体のうち、10月はデルタ株が5%、オミクロン株が0.2%であったのに対し、12月にはオミクロン株が98%となり、急速にオミクロン株に置き換わっていることが分かります。

南アフリカから見える期待

南アフリカでは昨年1月から12月にかけてオミクロン株による感染爆発が起き、一日3万人以上の人人が感染し

オミクロン株の市中感染が確認され、今後感染拡大が懸念されています。日本でも間違いなくオミクロン株による感染が広がるでしょう。今のところ「オミクロン株は感染力が非常に強いが、重症化はしない」と言われています。しかしオミクロン株について詳しいことは分かつておらず重症化しないという保証はありません。今後研究が進んでおりません。オミクロン株の詳細が分かつて来るでしょうが、現時点では分かつていることをお伝えします。また、ブースター接種の必要性や、今やつておかなければいけないことは何かを考えます。



南アフリカで初めて新種の変異株が確認され、南アフリカ保健局がWHOに報告したのは昨年11月24日です。WHOは26日に新しい変異株を「オミクロン」と名付けました。WHOでは新種の変異株が確認されるとギリシャ語を用いて名付けています。最初はアルファ株から始まり、ベータ、ガンマ、デルタと続きます。その後次々と変異株が確認され、11月の時点では12番目のミュー株まで確認されていました。通常であれば新種の変異株は13番目のニュートラムと呼ばれるはずですが、ところがWHOは13番目のニュートラムと、14番目のクサイを飛ばして、15番目のオミクロンを名付けました。なぜWHOはニュートラムとクサイを飛ばしてオミクロンと名付けたのでしょうか？

からウイルスが性は極めて低い」と発表したのです。新型コロナウイルスを収束させるために、世界の指揮を取りなけばいけないはずの

テドロス事務局長

習近平国家主席

ました。しかし、重症化する人は少なく、医療体制もひつ迫していません。12月下旬には1万人を下回り、12月30日、南アフリカ政府は「オミクロン株によつて生じた新型コロナ感染の第4波のピークは過ぎたとみられる」とし、「夜間外出禁止令など一部の制限を解除する」と発表しました。

南アフリカではワクチンの接種率は3割にも達していませんから、今回オミクロン株に感染したのはワクチン未接種の人たちです。これが集団免疫が獲得でき、南アフリカは新型コロナウイルスの収束に向かうのではないかと期待されているのです。

ブースター接種

国内のオミクロン株感染者1例目は、成田空港の検疫で陽性となり、11月30日に同株への感染が判明したナミビア人の外交官です。厚生労働省によるとこのケースを含め、空港検疫で見つかった同株感染者は1月3日時点で452人に上ります。空港検疫で感染

年末年始で人が動き、会食する機会も増えるため、オミクロン株の感染者が増えると予想されます。感染力が非常に強いとされるオミクロン株の感染を防ぐにはどうすればいいのでしょうか？オミクロン株など新たな変異株であつても、従来と同様に3密回避、会話時のマスクの着用、手洗い、換気などの基本的な感染対策の徹底が大切です。そして最も有効と考えられるのがブースター接種です。

日本の感染状況

オミクロン株の感染を防ぐには？

が判明した人のほか、空港以外でも全国で298人の感染が分かっており、同株感染者は計750人に上りました。感染経路不明の「市中感染」とみられる事例も各都府県から次々と報告されています。

といった意味合いがあります。つまり、3回目のワクチン接種のことですね。なぜ3回目のワクチン接種が必要なのでしょうか？それは2回目のワクチン接種後、約6か月でその効果は半減してしまうからです。日本では2回目接種後8か月を経過してから3回目を接種するとしています。しかし、昨年6月に2回目接種を終えた高齢者の方は12月で6ヶ月経ちますから、3回目を前倒しして接種すべきだという議論がされています。

接種券は自治体から送られてくるの？

前回のワクチン接種は18歳以上の全ての国民に自治体から接種券が送られて来ましたが、今回は2回目接種を終えた方だけに接種券が送られます。そのため誰が2回目接種を終えているかを自治体が把握する必要があります。自治体の接種券を使用して接種した方は、間違いなく自治体が接種を把握しています。しかし、自治体の接種券を使用せず、職域接種などを受けた

ひとくち医学用語

市内感染

病院内で引き起こされる感染症である「院内感染」と対比する言葉で、病院外で発症した感染症を指す用語。社会生活をしている健康人に起こる感染症で、外因性感染症である。

参考文献 厚労省HP/デジタル
Cニュース/朝日新聞デジタル

接種証明書発行アプリ

方は、自分が2回目接種を終えたことを自治体が把握しているかどうか、確認する必要があります。そうしないと自治体から接種券が送られて来ないからです。

デジタル庁が正式に提供しているアプリがあります。こ

れを利用して接種証明書が発行されれば、自治体が2回目接種を終えていることを把握ししていることになります。スマートフォンで「デジタル庁 接種証明」と検索してみてください。オミクロン株を乗り切れば今年でコロナが収束するかもしれません。マスク、手洗い、3密回避、そしてブースター接種でコロナに勝ちましょう！